

附属図書館に戸塚刺しゅう 「阿蘭陀船 鶴の湊入航の図」 寄贈

附属図書館に戸塚刺しゅう、阿蘭陀船鶴の湊入航の図が寄贈され、6月16日、学長室にて齋藤学長から戸塚刺しゅう協会長崎支部及び製作者の方々に感謝状が贈呈されました。

戸塚刺しゅうはフランス刺しゅうを基礎に様々なスッチの組み合わせを楽しむ刺しゅうであり、このたび寄贈された刺しゅうは縦約1m x 横約1.4mは、附属図書館医学分館所蔵の、オランダ軍艦バレンバン号長崎入港の図が図案となっているもので、6人の製作者により約1年をかけて作成されたものです。

早速、附属図書館の中央図書館2階ロビーに展示されました。



戸塚刺しゅう協会長崎支部の方々、右端から
柴多附属図書館長、演理事、齋藤学長

附属図書館が 「選書ツアー」を実施

附属図書館では、蔵書構築のため学生からのリクエストによる図書購入を行っています。このたび、学生が書店に出向き、学生の目線で図書館に置いてほしい本を直接選ぶ「選書ツアー」を実施しました。

この企画は、学生懇談会などで聞かれた「図書館に欲しい本がない」との学生の声にこたえたもので、7月2日、長崎市内大型書店で行いました。

ツアーに参加したのは公募により選ばれた学生9名で、2時間で111冊の本を選び出しました。

自ら選んだ本の中で特にお薦めの本には推薦文を書いてもらい、中央図書館2階に設置した企画コーナーにて本と共に展示公開しています。

参加者からは、「これからもどんどん今回のような企画をしてほしい」、他の人に役立つ本を選書できるので図書館利用者にとって有益な企画であると思つたなど、今回のツアーや図書館に対して積極的な意見が聞かれました。

今秋にも同ツアーを実施する予定です。



真剣に本を選ぶツアー参加者

平成20年度長崎大学 オープンキャンパスを開催

7月19日・20日の2日間、受験希望者などを対象としたオープンキャンパスを開催しました。

19日は、「文教キャンパス」、坂本キャンパス、「片淵キャンパス」の3つのキャンパスを会場とし、5,037名、20日は、「文教キャンパス」の薬学部・工学部・環境科学部の3学部のみで開催で、227名の参加者がありました。

今年は各学部説明会に加え、齋藤学長会に加え、齋藤学長による高校生のための学長特別講義、游学のまち長崎と長崎大学を初めて実施し、その中では、田上富久長崎市長とのコラボレーションもを行いました。



学部概要説明

参加者は、それぞれの学部の紹介、施設見学、公開実験などで希望する学部の教育研究内容について、また学長特別講義により長崎大学全体について、理解を深めたようです。



田上長崎市長(左)とのコラボレーショントーク



水産学部公開実験

大学院教育学研究科教職大学院(専門職学位課程)設置記念式典を挙

大学院教育学研究科は8月5日、教職大学院(専門職学位課程)設置記念式典及び祝賀会を挙行し、文部科学省をはじめ、長崎県、長崎市、県内連携大学などの学内外関係者ら140名が出席しました。

式典では、村田教育学研究科長の式辞に続き、齋藤学長が、教職大学院の設置は、長崎大学の社会貢献をさらに高めるものであり、大学を挙げて日本の教職大学院となるべく努力したいと挨拶し、その後、文部科学省の徳永保高等教育局長(代読)・堀清一郎高等教育局専門教育課教員養成企画室長(金子原二郎長崎県知事代読)・寺田隆士長崎県教育委員会教育長)から祝辞が述べられ、教職大学院への大きな期待が寄せられました。

引き続き、附属小学校合唱部の児童による「トラスの後、橋本教育学研究科教授から同研究科の概要説明があり、さらに渡邊隆上越教育大学学長から、国立大学の法人化と教職大学院設立の意味」と題して記念講演が行われました。

式典後の記念祝賀会では、村田教育学研究科長の挨拶の後、太田雅英長崎県教育委員会教育長の発声で乾杯しました。その後、富岡勉衆議院議員及び谷本美彦宮崎大学大学院教育学研究科長からお祝いのスピーチが述べられ、最後に、佐伯重幸長崎大学名誉教授の万歳三唱で同研究科の新たな出発を祝いました。



学長賞授与式を挙

8月6日、学生会館多目的室において学長賞授与式を挙行しました。

学長賞は、卒業又は修了時において特に優秀な成績を修めたと認められる学生などを表彰するために設けられた制度です。

今回は、平成20年3月に生産科学研究科を修了された生涯学習の模範となつた久保田英士さん(81歳)と「ハニキヤップ」を乗り越えてバリアフリー問題に取り組んだ森正さんの両名に表彰状と記念品が授与されました。

その後、齋藤学長と受賞者の記念撮影と懇談が行われました。



授与式終了後の記念撮影

インターナショナル・ カルチャー・デーを開催

8月10日、中部講堂において、今年で6回目となる長崎大学留学生協会(NUFLSA)主催のイベント「インターナショナル・カルチャー・デー」を開催しました。

当日は、夏の暑い日差しの中、子供たちや地域住民など約200名が参加しました。

イベントの前半は、中部講堂前でワールド・フード・フェスティバルが行われ、参加者は各ブースにおいて、インドネシアやオランダなどからの留学生が作った世界11カ国の家庭料理に舌鼓を打ちました。

後半は、カルチャー・ショーが行われ、留学生、一般学生のほか周辺の地域住民による歌や音楽、舞踊などが披露されました。



齋藤学長を囲んで記念撮影